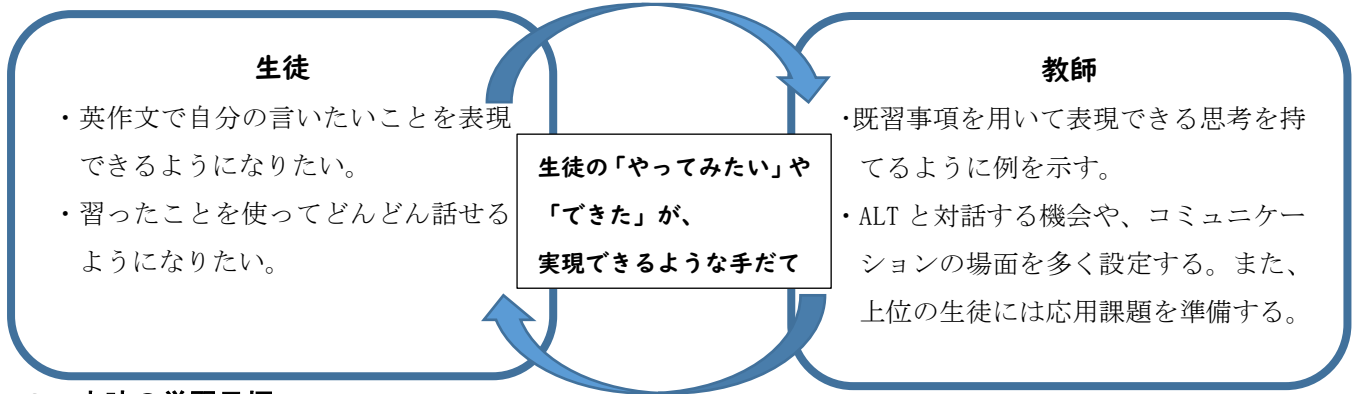


1. 生徒と教師の内省の往還 (実施アンケートより)



2. 本時の学習目標

- ・聞き手が求める情報や理解しやすい文章構成について理解することができる。

3. 学習活動 (本時 2 / 5)

生徒の思考、表現等	学習活動	教師の手立て、支援
① ウォームアップ、前時の復習。(7分) (一斉)		
・日本文化には食べ物や行事、衣服など様々なものがあることに気づく。		・日本文化に関するクイズを、インタラククションを通して行い、本時の目標に迫るためのウォームアップ活動を行う。
② 外国人の立場で2つの紹介文のどちらが魅力的な紹介文であるかを考える。(10分) (個) → (協働)		
・外国人の立場に立ち、わかりやすさや面白さなどを評価し、魅力的な紹介文とはどのようなものかを考える。		・聞き手の立場を意識することで、内容や文章構成など、どのような工夫をすればより魅力的な紹介文になるのかを考えさせる。
聞き手にとって魅力的な日本文化紹介文について考えよう		
③ 紹介文の並び替え問題に取り組む。(10分) (個) → (協働)		
・必要な情報は何なのか、どの順番で情報を伝えると相手に伝わりやすいかを考える。		・②で学んだことを活かして、順番や内容の取捨選択をしながら、紹介文の構成を考える練習を行う。
④ 自分が選んだ日本文化についての紹介文の下書きをする。(20分) (個)		
・今日学んだことを活かして、相手に伝わりやすい構成になるように意識して下書きに取り組む。		・今日学んだ内容を板書等に示し、既習事項を活かして英作文に取り組めるようにする。 ・英作文が苦手な生徒を補助するワークシートなどを準備する。
⑤ 振り返り (本時の学びの地図) を記入する。(3分) (個)		

4. 評価

- ・聞き手が求める情報や理解しやすい文章構成について理解することができる。

(学びの地図、授業姿勢、態)